

地震発生のしくみ～日頃から備えを～

地震は地下で起きる岩盤の「ずれ」により発生する現象です。硬い物に力がかかり、それに耐えられなくなると、ひびが入ります。地下では岩盤に力がかかっており、それに耐えられなくなったときに岩盤にひびが入り、ずれることで地震が起こるのです。

では、どうして地下に力がかかっているのでしょうか。

地球の表面は、十数枚のプレートと呼ばれる厚い板状の岩盤に覆われています。プレートの下にはマントルと呼ばれる流体があり、マントルは地球内部をグルグルと対流しています。このマントルが流れることで、上に乗っているプレートも一緒に動いていきます。そして、プレート同士がぶつかって、片方のプレートがもう一方のプレートの下に沈み込んでいます。このプレート同士がぶつかっている付近では強い力が働き、地震が発生するのです。日本周辺では、日本列島が乗っている陸のプレートに向かって、海のプレートである太平洋プレートとフィリピン海プレートが1年あたり数 cm の速度で沈み込んでいます。このため、日本周辺では、複数のプレートによって複雑な力がかかっており、世界でも有数の地震多発地帯となっています。海のプレートが沈み込むときには、陸のプレートの端の部分を地下へ引きずり込んでいきます。陸のプレートの端の部分が引きずりに耐えられなくなり、跳ね上がることで起こるのがプレート境界の地震です。この地震が海の地下の浅い場所で発生した場合、津波が発生することもあります。

陸域の浅い地震は、人が暮らしている地域に近いところで発生するため、大きな被害を伴うことがあります。また、沿岸部で大きな地震が発生した場合にも、揺れや津波による被害に注意が必要です。

自らの命、大切な人の命を守るために、日頃から地震への備えをお願いします。

問い合わせ先 網走地方気象台
(電話：0152-43-4349)

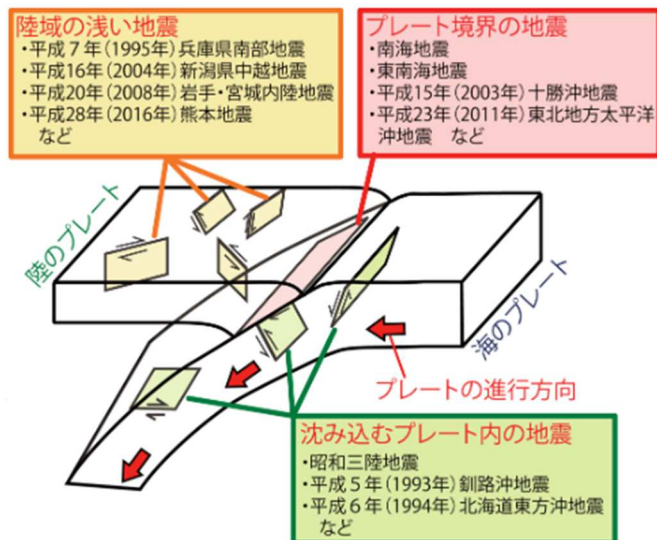


網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ

「地震から身を守るために」はこちらから



日本付近で発生する地震

(気象庁ホームページより)